



No.3296

第3614回例会
平成31年4月24日DISTRICT 2500
OBIHIRO
ROTARY CLUB

方針

Free Mind Rotary
ロータリーを広めよう

会長 和田賢二



Free Mind Rotary

2018-19年度国際ロータリーのテーマ インスピレーションになろう

■会長報告

和田 賢二 会長



先般、青少年育成委員会の伊藤委員長より報告されておりましたが、東日本大震災へ義援金を寄付する為に、今年で9回目になる帯広ローターアクトクラブによるチャリティーフリーマーケットが5月12日(日)イトーヨーカドー前で行われました。

私もフリーマーケットへ提供させて頂くつもりで、家の中で使わずに置いてあった物を取り出して集めましたら、大きなダンボール二つ分がいっぱいになりました。

以前、実家の荷物整理をしていた時に、頂き物なのかどうか分かりませんが新品のまま使わずに大事にしまい込んである物が沢山出てきました。我々の親の世代は、戦後何もない頃を過ごしていた為か、道具でも何でも壊れたら直しながら使用するのが当たり前でした。

今では余り見かけなくなりましたが、鋳掛屋さんというのが住宅街に定期的に回ってきて、穴の開いた鍋や傘の修理をしておりました。一つの物を大事に使う世代から、痛んだり汚れたら捨ててしまう世代に今はなってきたのだと思います。

ロータリーも様々なボランティアを行っておりますが、大阪に本部があるワールドギフト国際社会支援推進会は、ランドセルやスニーカー、リコーダー、文房具、おもちゃ、古着、台所用品などを全国から集めてアフリカ・東南アジア・南米などの発展途上国へ送るボランティアをしております。提供したい物があればダンボールに入れて宅配便で本部へ送るだけです。今では85ヶ国に支援しているようです。因みに、3LDKくらいの住宅で家財の量は15立米位と言われますが、これを処分するのに費用だけでも20万円程度かかります。

私も60代後半になりますと健康寿命はあと20年もないと思いますので、自分の子供達に後処理で負担をかけないように、今のうちに暇を見つけては、不要な物はフリーマーケットに提供したり、発展途上国で再使用してもらう様に寄付したり、又はこまめに断捨離(だんしゃり)したいと思います。

■プログラム

出席委員会

「福島第一原発事故を振り返って」

新沼 彰人 会員



東京電力福島第一原子力発電所事故を振り返って

帯広ロータークラブ
平成31年4月24日
新沼 彰人

出席報告

4月10日例会 会員総数92名(内免除会員4名)

出席者数 57名

欠席者 21名

0

マークアップ 14名

(名)

92

地震発生日時：平成23年3月11日14時46分
地震の規模：マグニチュード9.0

■福島第一原子力発電所事故の概要(1)

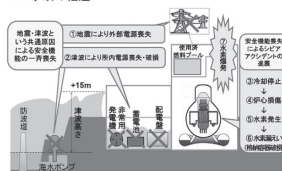
➢ 敷地内の津波の様子

地震発生約50分後に襲来した津波により、発電所敷地(海抜約10m)は広範囲に浸水(海抜約15m)。



■福島第一原子力発電所事故の概要(2)

➢ 事故の経過



■福島第一原子力発電所事故の概要(3)

➢ 1~4号機の事故の様子

水素爆発により原子炉建屋が大きく損傷



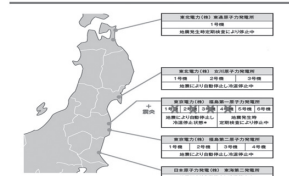
■福島第一原子力発電所事故の概要(4)

➢ 事故の重大さ

- 燃料棒が溶けて炉底に落下する、いわゆるメルトダウンの状況
- 1、3、4号機では水素爆発が発生して原子炉建屋などを大破
- 大量の放射性物質が大气中に漏れ出て、放射能を帯びた水が太平洋に流出
- 放射性物質は東北、関東一円に雨とともに落下して土壌や水、農産物の放射能汚染を引き起こした

⇒ 国際的な事故評価尺度 (INES) ではチェルノブイリ原子力発電所事故と同じレベル7 (大気中に放出された放射線の量はチェルノブイリの1/6~1/7)

■震源に近い原子力発電所の状況(1)



■何故、福島第一原子力発電所1~4号機だけが事故か

～原子力発電所の安全対策のポイント

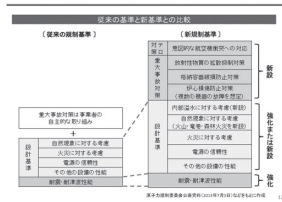
- 止める 冷やす 閉じ込める
- 原子炉を止める
 - 福島第一発電所を全ての発電所で燃料の供給を止めることは成功
 - 燃料棒を冷やす
 - 冷却水を供給する必要がある
 - 福島第一発電所1~4号機
 - 冷却水供給が停止したため、炉内温度が上昇し、燃料棒が溶け、放射性物質が漏れ出した
- 原子炉を閉じ込める
 - 福島第一発電所1~4号機
 - 燃料棒を冷やしながら、炉内温度を下げることができなかったため、炉内温度が上昇し、燃料棒が溶け、放射性物質が漏れ出した

■福島第一原子力発電所と女川発電所

- 震災により近く、より大きな揺れにみまわれた女川原子力発電所であったが、被災した住民を受け入れ、地域とともに困難を乗り越えた。
- 福島第一原子力発電所と女川発電所の比較

項目	福島第一	女川
1号機	2011年3月11日	2011年3月11日
2号機	2011年3月11日	2011年3月11日
3号機	2011年3月11日	2011年3月11日
4号機	2011年3月11日	2011年3月11日

■福島第一原子力発電所事故を受けた新規制基準の概要



■原発の安全対策のポイント(1)



■原発の安全対策のポイント(2)



■福島第一原子力発電事故を海外メディアはどう報じたか(1)

- 日本政府、東京電力側に對して、かなり批判的に報じられていた。But、日本人の対応について高く評価したものも多かった。
- (例)
 - ニューヨークタイムズ(2011年3月20日)
 - 放射能に晒されている名もなき労働者は、日本人の無私無欲と規律正しさと奉仕精神を賞賛している
 - 日本人は気高く、威厳かつ優雅にありえない苦痛に耐えた
 - ワシントンポスト(2011年3月15日)
 - 災害のとき、社会の強みは明確に見える
 - 日本社会の組織、技術力、技術力、そして日本人の優れた能力が浮き彫りになっている
 - ウォールストリートジャーナル(2011年3月12日)
 - 日本国民が最大限の地震に立派に耐えたことは素晴らしい。ハイチや四川省の大震災のときとは対照的に

